救命救急センターの指定について

■概要

重篤患者の救命医療を行うことを目的とした救命救急センターについて、各病院や地域から救命救急センターの新規指定に係る要望を受けていたところですが、令和7年4月1日付けで松波総合病院(笠松町)及び中部国際医療センター(美濃加茂市)を救命救急センターとして新たに指定しました。

■新規指定に至る経緯

- 令和5年度県救急医療協議会において、「救命救急センターの新規指定によって医療人材が分散し、体制が弱体化するおそれがあることから、国の基準を超える県の指定基準を策定すること」を決定。
- 令和6年度より、協議会内にワーキンググループを設置し、基準案を作成。その後、協議会での検討を経て、令和7年3月に県の指定基準となる「岐阜県救命救急センター指定要領」を制定。
- 県内救急告示医療機関に同要領の制定を周知するとともに、令和7年4月1日付けでの指定を希望する申請の受付を開始。⇒松波総合病院及び中部国際医療センターの両病院から申請
- 令和7年3月28日 第3回救急医療協議会開催
申請のあった両病院の救命救急センターの指定の可否等について意見聴取
⇒協議会での意見を踏まえ、県として救命救急センターの指定を決定
- 令和7年4月1日 救命救急センターの指定

■令和7年7月11日現在 救命救急センター指定状況

病 院	指定年月日	種別
岐阜大学医学部附属病院	平成16年11月1日	高度※1
県総合医療センター	昭和58年11月1日	
松波総合病院	令和7年4月1日	
大垣市民病院	平成6年10月1日	
中濃厚生病院	平成12年8月1日	
中部国際医療センター	令和7年4月1日	地域※2
県立多治見病院	平成2年11月1日	
高山赤十字病院	平成4年12月1日	地域

※1 高度救命救急センター:救命救急センターのうち、広範囲熱傷、指肢切断、急性中毒等の特殊疾病患者に対する高度な救命医療を担当する医療施設。

※2 地域救命救急センター:救命救急センターのうち、専用病床が10床以上20床未満の医療施設。